



太宰府市民図書館

# としょかんだより

令和3年  
(2021年)  
**6月**

蔵書点検のため **6月21日(月)~25日(金)** 休館します

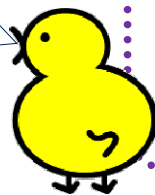
新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館となり、大変ご迷惑をおかけしました。休館中、今月末に予定していた特別整理期間の作業を一部前倒して行いました。

そのため年度当初の予定より特別整理期間を5日間短縮し、**月末休館日の6月30日(水)も開館**します。

行方不明になっている本がないか調べるために、図書館と移動図書館すくすく号は、更にお休みをいただきます。皆さんにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

**6月8日(火)~20日(日)までに借りると、貸出期間が3週間です!**

※なお、移動図書館「すくすく号」は、**6月29日(火)5コースから巡回**します。



## 臨時休館中に変更したところ

利用者アンケートをもとに改善しました!

- 👉 棚を掃除し、隣の連との境が分かりやすいように本を奥詰めしました。
- 👉 探しやすいするために建築などの一部と園芸、ペットなどの棚を入れ替えしました。
- 👉 目に入りやすいように、見出し版に各分類の色テープを貼付しました。
- 👉 CDのファイルを交替し、探しやすいよう綴りなおしました。
- 👉 こどもコーナーの丸テーブルに置いている書評の本の表紙をみせて選びやすくしました。

## 水にご注意ください!



水に濡れた本は、乾燥させても紙にうねりが残ります。

図書館の本はコーティングしているため、表紙に水が染み込むと乾きにくくカビが発生することがあります。

雨だけに限らず、本と一緒に持ち歩く冷たい飲み物の結露が原因で濡れることもあります。

また、夏の直射日光は、極端な温度変化に弱い視聴覚資料(CD・DVD・ビデオ)の破損の原因となります。特に夏の車内は思いがけず高温になりますので要注意です。



図書館の資料を長持ちさせるために、ご配慮をお願いします。

## 図書館日記

表紙に惹かれて思わず手に取った菊池寛著の「マスケ」。著者の似顔絵が表紙いっぱい描かれています。書店に並んでいる本にはさらにおもしろい仕掛けが施されています。舞台は100年前の日本。スペイン風邪が猛威を振るっていた頃の著者の実体験が元になった短篇小説です。恰幅がよく健康そうに見えた目に反して、心臓も肺も胃腸も人並み以下に脆弱だった著者が、スペイン風邪に対して最善の努力を払って予防に努める姿が描かれています。

コロナ禍で多くの人に読まれたカミュ著「ペスト」や、小松左京著「復活の日」(こちらは生物兵器の蔓延に端を発する話)などもそうですが、少し前であれば遠い昔の話であり、SFだったものが、今や現実的で身近なものに感じられます。コロナ禍が一刻も早く過去の出来事になることを願ってやみません。(英)